

ここに掲載した順は概ね本編に登場する順番であり、広義な著作から狭義な著作になっているかと思えます。

『ガン勝利者25人の証言～栄養療法でガンを治した！』今村光一／中央アート出版社

『いまの食生活では早死にする～アメリカ上院栄養問題特別委員会レポート』今村光一／経済界

『危険な油が病気を起こしている』ジョン・フィネガン／中央アート出版社

『300人委員会 凶事の予兆』ジョン・コールマン／成甲書房

『300人委員会 バビロンの淫婦』ジョン・コールマン／成甲書房

『暴露 エイズウイルスは細菌兵器だった』ゲイリー・グラム／ベストセラーズ

『AIDSの虚像と真実～HIV単一病因説は間違っている！』サイバーX編集部／工学社

『オーレユーロペンの奇跡～エイズを治し、ガン、耐性菌も退治する』モートン・ウォーカー／経済界

『医者も知らない亜麻仁油パワー』ドナルド・ラディン、クララ・フェリックス／中央アート出版社

『人気サプリメントのウソとホント～トップ33品目を徹底検証する！』生田哲／講談社

『迫る破局 生き延びる道』ジョン・コールマン／成甲書房

『鳥インフルエンザの正体』ジョン・コールマン／成甲書房

『ビルダーバーグ倶楽部～世界を支配する陰のグローバル政府』ダニエル・エスチューリン／バジリコ

『300人委員会～「世界人間牧場計画」の準備は整った！！』ジョン・コールマン／ベストセラーズ

『秘密結社全論考④～邪悪な仮面を暴け』ジョン・コールマン／成甲書房

『9・11テロ捏造～日本と世界をだまし続ける独裁国家アメリカ』ベンジャミン・フルフォード／徳間書店

『9・11アメリカは巨大な嘘をついた』ジョン・コールマン／成甲書房

『常温核融合2008——凝集核融合のメカニズム』高橋亮人／工学社

- 『2008年IMF占領～財政史から見た「日本破産」』森木亮／光文社
- 『アウシュウィッツ「ガス室」の真実』西岡昌紀／日新報道
- 『旧約聖書Ⅰ 律法～創世記 出エジプト記 レビ記 民数記 申命記』旧約聖書翻訳委員会／岩波書店
- 『旧約聖書Ⅱ 歴史書～ヨシヤ記 士師記 サムエル記 列王記』旧約聖書翻訳委員会／岩波書店
- 『フェニキア人』ゲルハルト・ヘルム／河出書房新社
- 『失われたイスラエル10支族「神武天皇」の謎』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『ローマの歴史Ⅰ——ローマの成立——』テオドール・モムゼン／名古屋大学出版会
- 『ローマの歴史Ⅱ——地中海世界の覇者へ——』テオドール・モムゼン／名古屋大学出版会
- 『新訳 ローマ帝国衰亡史』エドワード・ギボン／PHP研究所
- 『ポスト・ローマ期フランク史の研究』佐藤彰一／岩波書店
- 『ヨーロッパの暗黒時代～人とその歴史的映像』兼岩正夫／河出書房新社
- 『スペイン・ポルトガル史』立石博高、玉置さよ子、関哲行、中塚次郎、合田昌史／山川出版社
- 『カタルーニャの歴史と文化』M・ジンマーマン、M=C・ジンマーマン／白水社
- 『物語 カタルーニャの歴史』田澤耕／中公新書
- 『ヴェネツィア④』クリストファー・ヒバート／原書房
- 『海の都の物語～ヴェネツィア共和国の一千年 上』塩野七生／新潮社
- 『海の都の物語～ヴェネツィア共和国の一千年 下』塩野七生／新潮社
- 『ヴェネツィア～東西ヨーロッパのかなめ、1081—1797』ウィリアム・H・マクニール／岩波書店
- 『オスマンvsヨーロッパ～〈トルコの脅威〉とは何だったのか』新井政美／講談社選書メチエ

『フィレンツェ史』フランチェスコ・グイッチアルディーニ／太陽出版

『ポルトガル史』金七紀男／彩流社

『大航海の時代～スペインと新大陸』関哲行、立石博高、ミゲル・アンヘル・ラデロ・ケサーダ、ジェーオ・ピスタリーノ、ルース・パイク、ローレンス・A・クレイトン、ホセ・ルイス・マルティン・マルティン、イーダ・アルトマン、フランシスコ・デ・ソラーノ／同文館

『黄金の川～スペイン帝国の興隆』ヒュー・トーマス／大月書店

『オランダ史』モーリス・ブロール／白水社

『イギリス史1 先史～中世』青山吉信、飯島啓二、永井一郎、城戸毅／山川出版社

『英仏百年戦争』佐藤賢一／集英社新書

『イギリス史2 近世』今井宏、清水祐司、小泉徹、大久保桂子、青木康／山川出版社

『アマルダの戦い～スペイン無敵艦隊の悲劇』マイケル・ルイス／新評論

『クロムウェルとピューリタン革命』今井宏／清水書院

『闇の世界史』ウィリアム・G・カー／成甲書房

『血塗られた英国王室～ダイアナ暗殺とユダヤの罠』太田龍／雷韻出版

『秘密結社全論考⑩～人類家畜化の野望』ジョン・コールマン／成甲書房

『石油の戦争とパレスチナの闇』ジョン・コールマン／成甲書房

『世界権力構造の秘密～闇の犯罪秘密結社の恐るべき野望』ユースタス・マリNZ／日本文芸社

『イルミナティ悪魔の13血流～世界を収奪支配する巨大名家の素顔』フリッツ・スプリングマイヤー／ベストセラーズ

『ロスチャイルドの密謀』ジョン・コールマン、太田龍／成甲書房

『神々の指紋④』グラハム・ハンコック／翔泳社

- 『神々の指紋⑤』グラハム・ハンコック／翔泳社
- 『アトランティス・ブループリント』コリン・ウィルソン、ランド・フレマス／G a k k e n n
- 『惑星の暗号』グラハム・ハンコック、ジョン・グリッグズビー、ロバート・ボーヴァル／翔泳社
- 『月の謎とノアの大洪水』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『火星の謎と巨大彗星メノラー』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『太陽系第12番惑星ヤハウエ』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『恐竜大絶滅の謎と木星メネシス』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『地球膨張の謎と超大陸パンゲア』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『氷河期の謎とポールシフト』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『木星大赤斑の謎とベツヘルムの星』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『失われたムー大陸の謎とノアの箱舟』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『大ピラミッドの謎とスフィンクス』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『失われた火星人間岩「メサイア」の謎』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『超常極秘ファイルASKA』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『アヘン貿易論争——イギリスと中国——』新村容子／汲古書院
- 『清朝末期の戦乱』小林一美／新人物往来社
- 『清朝・大宮の幻影——李鴻章と丁日昌——』若尾正昭／透土社
- 『韓国 墮落の2000年史～日本に大差をつけられた理由』崔基鎬／詳伝社
- 『日韓併合の真実～韓国史家の証言』崔基鎬／ビジネス社

- 『日韓併合～韓民族を救った「日帝36年」の真実』崔基鎬／詳伝社
- 『日韓「歴史問題」の真実』西岡力／PHP研究所
- 『ロシア・ソヴェト史』ライオネル・コーチャン／三一書房
- 『大東亜戦争への道』中村粲／展転社
- 『満州国は日本の植民地ではなかった』黄文雄／ワック
- 『ヒトラー・コード』ヘンリク・ウェーベル、マティアス・ウール共編／講談社
- 『暗黒大陸 中国の真実』ラルフ・タウンゼント／芙蓉書房出版
- 『アジアの独立と「大東亜戦争」』西岡香織／芙蓉書房出版
- 『参謀本部作戦課の大東亜戦争』高山信武／芙蓉書房出版
- 『米内光正と山本五十六は愚将だった～「海軍善玉論」の虚妄を糾す』三村文男／テームス
- 『悪魔的作戦参謀 辻政信～稀代の風雲児の罪と罰』生出寿／光人社
- 『アジアに生きる大東亜戦争』ASEANセンター／展転社
- 『大東亜会議の真実～アジアの解放と独立を目指して』深田祐介／PHP新書
- 『「東京裁判」を裁判する』渡部昇一／致知出版社
- 『パール判事の日本無罪論』田中正明／小学館
- 『全訳 日本無罪論』ラダ・ビノード・パール／日本書房
- 『教科書は間違っている～沖縄「集団自決」・シンガポール「虐殺」の真相』中村粲／日本政策研究センター
- 『神軍の虐殺～占領下フィリピンで何が起きたのか』川村悦郎／徳間書店
- 『戦争プロパガンダの嘘を暴く』三好誠／展転社

- 『悲劇の将軍～山下奉文・本間雅晴』今日出海／中央公論社
- 『私の青春は密林の中にあった～兵站獣医部下級将校50年前の思いで』石原忠雄／新風社
- 『山本五十六は生きていた～誰がなぜ歴史の真相を歪曲したか』ヤコブ・モルガン／第一企画出版
- 『韓国三星財閥の内幕～巨大企業の暗黒と李一族の野望』孫忠武／現代書林
- 『ユダヤの日本侵略450年の秘密～ザビエルの日本上陸から自民党崩壊まで』太田龍／日本文芸社
- 『長州の天皇征伐』太田龍／成甲書房
- 『人類最終兵器プラズナー』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『ミステリーサークルの謎とスターウォーズ』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『エイリアンの謎とデルタUFO』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『失われた異星人グレイ「河童」の謎』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『亜空間の謎と地球空洞論』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『アポロ計画の謎と月空洞論』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『太陽の謎とフォトンベルト』飛鳥昭雄、三神たける／学研
- 『完全ファイル～UFO&プラズマ兵器』飛鳥昭雄／徳間書店
- 『言霊でしか解けない聖書～ヨハネの黙示録&ハルマゲドンの巻』飛鳥昭雄／徳間書店
- 『環境危機をあおってはいけない～地球環境のホントの実態』ビョルン・ロンボルグ／文藝春秋
- 『真の独立への道』モーハンダース・カラムチャンド・ガーンディー／岩波文庫